第41回アウトドアカレッジ（ダム部）

設楽ダムの湖面利用を考えよう

先例地視察（各務原市・犬山市・小里川ダム）報告

令和8年10月29日（木）午後７時～午後８時　設楽町役場議場

本日の内容

1．河川管理担当職員の人材育成に係る現場勉強会報告

2．設楽ダムを活用した社会実験について

3．意見交換



松田　智生（まつだ　ともお）氏

丸の内プラチナ大学　副学長
高知大学　客員教授
三菱総合研究所　主任研究員 チーフプロデューサー



１．河川管理担当職員の人材育成に係る現場勉強会報告

河川管理担当職員の人材育成に係る現場勉強会報告

1　岐阜県各務原市の事例

【現地視察】わたしのパーク

2　愛知県犬山市の事例

【現地視察】木曽川河畔

3　小里川ダムの事例

【座学】木曽川上流河川事務所



河川管理担当職員の人材育成に係る現場勉強会報告

1　岐阜県各務原市の事例

【現地視察】わたしのパーク

2　愛知県犬山市の事例

【現地視察】木曽川河畔

3　小里川ダムの事例

【座学】木曽川上流河川事務所



1　岐阜県各務原市の事例 － 概要

Park-PFI制度を活用して整備







※　Kakamigahara わたしのPARK
HPより（https://x.gd/susGM）

1　岐阜県各務原市の事例 – 公園施設

フリーバイクコース（パンプトラック）







1　岐阜県各務原市の事例 － 公園施設

芝生ひろば





1　岐阜県各務原市の事例 － 公園施設

休憩所＆情報発信コーナー











1　岐阜県各務原市の事例 － 公園施設

休憩所＆情報発信コーナー







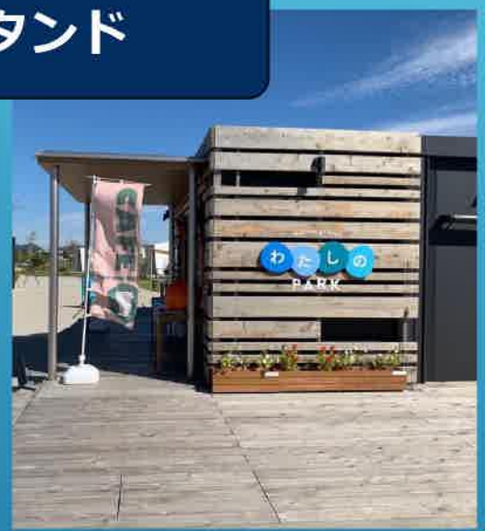




1　岐阜県各務原市の事例 － 公園施設

受付&テイクアウトスタンド











1　岐阜県各務原市の事例 – 公園施設

レンタルバイク





1　岐阜県各務原市の事例 － 公園施設

デイグランピング









1　岐阜県各務原市の事例 － 維持管理





：市が管理する施設

：民間が管理する施設

民間において施設管理設計

↓

完成後に施設を市が購入

※　Kakamigahara わたしのPARK
HPより（https://x.gd/susGM）

1　岐阜県各務原市の事例 – 維持管理





：市が管理する施設

：民間が管理する施設

維持管理費は、**民間管理施設の売上をもって賄われている**

※　Kakamigahara わたしのPARK HPより（https://x.gd/susGM）

1　岐阜県各務原市の事例 － まとめ

市の悩み

新たに施設を整備しても、その施設の維持管理に充てる予算の確保が難しい

民間

自らのノウハウで施設を運営し、施設運営に係る維持管理費を捻出

＋

行政

民間のアイデアを最大限反映した施設整備の実現

行政と民間が連携した、持続可能な運営方法のヒントに？



河川管理担当職員の人材育成に係る現場勉強会報告

1　岐阜県各務原市の事例

【現地視察】わたしのパーク

2　愛知県犬山市の事例

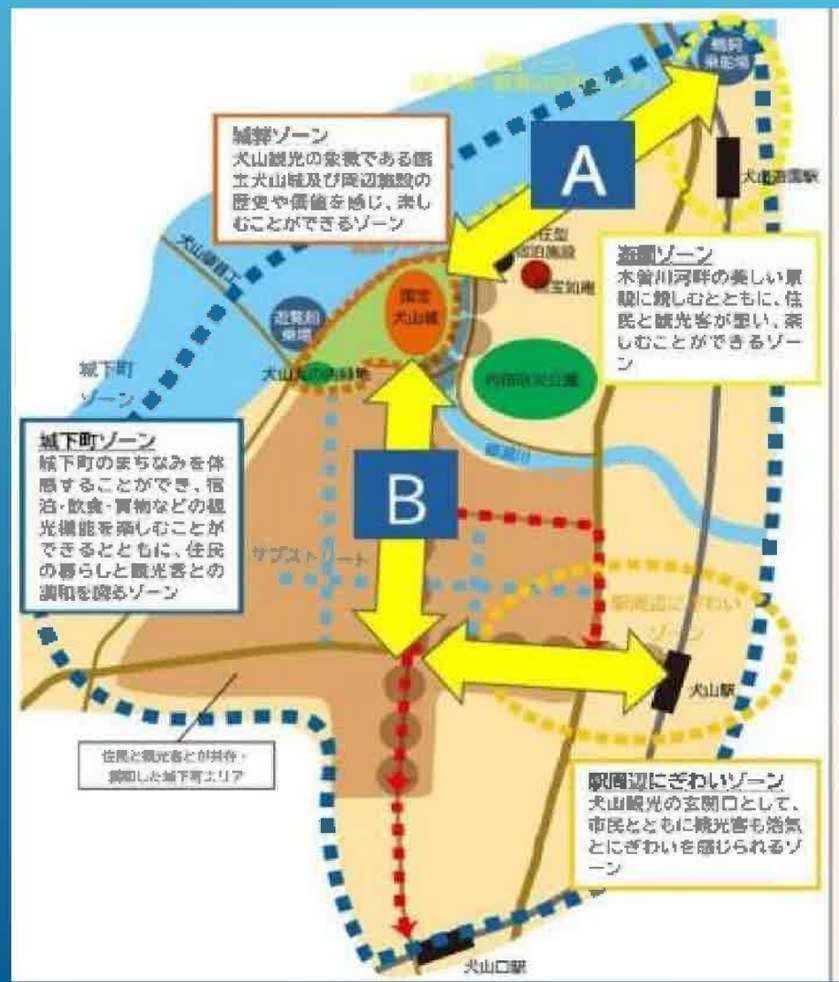
【現地視察】木曽川河畔

3　小里川ダムの事例

【座学】木曽川上流河川事務所



2　愛知県犬山市の事例 － 概要







・河畔整備による回遊性向上・分散型でスローな観光の実現
・犬山城下町の混雑緩和
・滞在時間延伸による宿泊と消費の増加、経済活性化

Bエリア（犬山城下町）の混雑が課題

Aエリア（木曽川内田河畔）の活用
＝回遊性の向上が図られる

※　「犬山市かわまちづくり計画」
犬山市HPより（https://x.gd/su7Z8）



2　愛知県犬山市の事例 – 河畔の現況





- 民家とのキワまで河川区域
- 景観法、文化財保護法、道路法、自然公園法など、様々な法律の規制がかかる区域



2　愛知県犬山市の事例 － 協議会の活動



河畔 de カタリーヴァ



設置したい場所まで自分たちで運搬



さくら柄竹あかりをLED電球でライトアップ



最後は犬山城と竹あかりをバックにピース！

※　「第３回犬山市かわまちづくり推進協議会 資料３ 内田地区の取組み」犬山市HPより（https://x.gd/orNyk）

2　愛知県犬山市の事例 － 協議会の活動

河畔 de おためし大作戦



水上
コンサート





スープ
カレーの
ふるまい



桜ライト
アップ、
ナイトマー
ケット

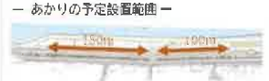
おためし 1 桜ライトアップ



2024 03.01 金 ▶ 04.09 火　各日 PM 5:00 ▶ PM 9:00

内田地区の河畔空間を高質化して新たなにぎわいづくりと憩いの場所づくり、さらには犬山城下町から内田地区への回遊ルートを実現するため“あかり”の実証事業としてストリングスライトを４０日間にわたり設置します。

－ あかりの予定設置範囲 －



おためし 2 ナイト マーケット



2024 03.22 金 23 土 29 金 30 土
各日 PM 5:00 ▶ PM 8:30

桜が咲くころ、温かい飲み物や軽食などを楽しめるよう夜のにぎわいづくりを全４日間にわたりおためしします。木曽川河畔で活躍する犬山朝市の約10店舗が出店するので桜を見上げながら地元の食材などをお楽しみください。

－ 出店店舗と主なメニュー（予定） －

日比野製茶	犬山堂のお茶	swan's café	みかんジュース
あいぼち	キッシュ	おにぎり屋 いち	おにぎり
café 樂	コーヒー	和ここ	発酵フィナンシェ

and more!

■ 主催　犬山市経済環境部 観光課、一般社団法人 犬山市観光協会
■ 協力　犬山朝市協同組合
■ お問い合わせ先　犬山市 経済環境部 観光課 TEL 0568-44-0342 Email 040500@city.inuyama.lg.jp

竹あかり
設置



INUYAMA
YOI NO MICHI

河畔 de おためし大作戦 2025

2025 3.1 土 ～ 4.9 水　各日 PM 5:00 ▶ PM 9:00

木曽川の河畔空間を高質化して新たなにぎわいづくりと憩いの場所づくり、さらには犬山城周辺から内田地区への回遊ルートを実現するため“あかり”の実証事業として竹あかりを４０日間にわたり設置します。

－ 竹あかりの設置範囲（予定） －



－ 主な設置イメージ －



主催　犬山市 経済環境部 観光課
問合　TEL：0568-44-0342（AM9:00～PM5:00、※土日祝を除く）　Email：040500@city.inuyama.lg.jp
※ お越しの際は公共交通機関をご利用いただくか、お車の場合は公共駐車場をご利用ください。
※ チラシに掲載している写真はすべてイメージです。また、気候等により内容が変更となる場合があります。

※　「第１回犬山市かわまちづくり推進協議会 資料6 犬山市木曽川河畔空間整備 基本構想（素案プラン(1)～(3)）」犬山市HPより（https://x.gd/MYiLt）
「河畔 de おためし大作戦！2024」犬山市HPより（https://x.gd/dKR52）、「河畔 de おためし大作戦！2025」犬山市HPより（https://x.gd/nr3Sf）

2　愛知県犬山市の事例 － まとめ



地域住民、事業者、自治体が一体となって
推進してきた、実践的な地域づくりの取組



アウトドアカレッジと温度感の近い
取組であるため、参考にできる？



河川管理担当職員の人材育成に係る現場勉強会報告

1　岐阜県各務原市の事例

【現地視察】わたしのパーク

2　愛知県犬山市の事例

【現地視察】木曽川河畔

3　小里川ダムの事例

【座学】木曽川上流河川事務所



3　小里川ダムの事例 － 概要



※　「ダム周辺の見どころ満載！小里川ダムウォーキングマップ」
国土交通省 中部地方整備局 庄内川河川事務所 小里川ダム管理支所HPより
（https://x.gd/9HDlO）



3　小里川ダムの事例 – 地域との共同



※　「『小里川ダムトレイルランニングレース・小里川ダム階段レース』開催します！」国土交通省 中部地方整備局 庄内川河川事務所小里川ダム管理支所HPより（https://x.gd/CAPe8）
「見て・食べて・体験！小里川ダム２０周年ライトアップイベント！」国土交通省 中部地方整備局 庄内川河川事務所小里川ダム管理支所HPより（https://x.gd/H7hnL）
「［秋の小里川ダム湖周ウォーキング 2025」を開催します！」国土交通省 中部地方整備局 庄内川河川事務所小里川ダム管理支所HPより（https://x.gd/00ebi）

3　小里川ダムの事例 － オープン化

【都市・地域再生等利用区域区域指定に向けた動き】

期　日	内　容	備　考
令和７年４月	第１回協議会	小里川ダム地域活性化協議会発足
令和８年２月	制度説明	各地域のコミュニティーセンター・振興事務所へ制度説明
令和８年３月	第２回協議会	占用方針・占用施設、利用方法の検討
令和８年４月	制度説明	瑞浪市土木課・恵那市観光交流課へオープン化制度・手続き説明
令和８年７月	第３回協議会	規約改正、占用方針・占用施設、利用方法の検討
令和８年９月	第４回協議会	占用方針・占用施設（案）、要望書（案）の作成

＊オープン化についての地元合意が形成



3　小里川ダムの事例 － まとめ

オープン化の検討以前より、
関係機関が連携して事業を実施するなどの**下地があったため、スムーズに検討を進められた**

従来から、認知度向上や
観光客誘致の取組を実施

既存の取組の充実や、
新たな活動につなげるため、
オープン化を検討



町においても、

- 従来より関係機関の連携を進めていく
- 検討段階から事業スキームを図示し、関係者間で共通認識をもって進める

ことで、スムーズに検討が進められる？

ここで、みなさんへお知らせ

令和10年３月を目標に寒狭川の「河川空間のオープン化」に向けて動き始めます！

1．どこで？｜都市・地域再生等利用区域の指定予定箇所について



2．なぜ？｜想定される利用方法

滞在
散策・休憩スペース
川辺のライトアップ

交流
道の駅と連動した
マルシェ
地域イベント

体験

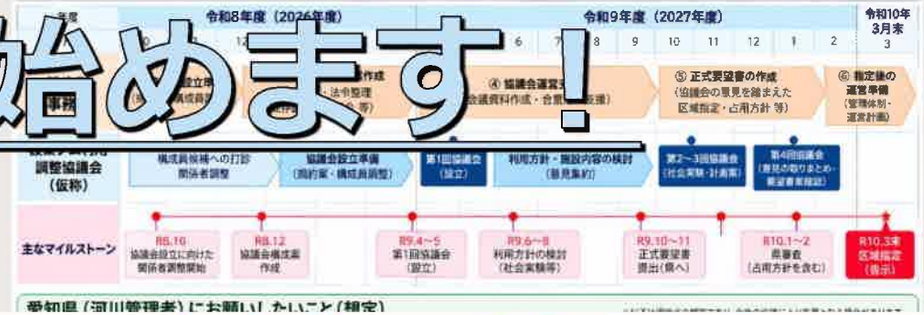
連携
道の駅・貯木場跡地
設楽ダム湖周辺施設
との連携

3．どう進める？｜各種事業の関係性

相関図（案）



3．どう進める？｜指定までのスケジュール



このエリア（道の駅・旧貯木場を含めたエリア）を使って何をやりたいか？
アイデアを教えてください！

２．設楽ダムを活用した社会実験について

設楽ダム関連活動実行協議会の社会実験の第1弾プロジェクトとして フィールドディスカバリーゲーム in 設楽　が開催されました！



社会

設楽町が冒険の舞台に

城跡、巨木、石仏…どこから巡る？／27日にＦＤＧ大会を開催

2026/09/08

スマートフォンを片手に地域の歴史・文化遺産を探し歩き、得点を競う大会「フィールドディスカバリーゲーム」（ＦＤＧ）が27日、設楽町で初めて開催される。運営団体代表の竹内敦平さん（49）＝みよし市＝は「設楽には民俗的なスポットが数多く残り、自然豊かな景色とマッチしている。町の魅力を発見できるイベントになる」と話している。


大会について説明する竹内代表（設楽町で）

町内に点在する山城跡、寺社、巨木、路傍の石仏…。参加者は、大会当日に配られる地図に載ったスポットを思い思いのルートで巡る。スマホのカメラで撮影することで、各地点に割り振られた点数を獲得。その合計で順位が決まる。

27日に設定されるスポットは、スタンダード部門（４・５時間）で47カ所。新城市内が一部含まれる。

自分の足以外に路線バスを利用できるものの、全ては回り切れない。どのスポットを優先するのか、地図と時刻表を見ながら作戦を立てることになる。

体力や読図が試される冒険のような競技だが、順位を忘れてのんびり史跡巡りをしても、楽しい秋の１日になりそうだ。

個人やチームで参加し、スタンダード部門の参加料金（中学生以上）は１人３６００円。大人同伴なら小学生以下も参加できる。発着点は同町田口の「ふれあい広場」で、当日は初心者向けの講習がある。

申し込みは21日まで。一般社団法人フィールドディスカバリー協会のウェブサイト＝二次元コード＝から手続きする。当日の現地申し込みも可能だ。

問い合わせは同協会＝電話０５６１（78）１００５＝へ。

東日新聞
R8.9.8

設楽ダム関連活動実行協議会の社会実験の第1弾プロジェクトとして フィールドディスカバリーゲーム in 設楽　が開催されました！











今後の予定①

設楽サウナ

※町民限定

令和８年10月31日（土）
11月１日（日）
10：00～15：00

場所：道の駅したら裏手
鮎美橋すぐ下の河川敷



今後の予定②

DAM JAZZ

令和８年11月28日（土）
10：00～16：00

開催場所
設楽ダム工事現場特設エリア

※フライヤーの内容から変更されています。



3．意見交換

グループ①　地域振興に関する意見交換
（松田教授・エコッツェリア協会メンバー参加）

【エコッツェリア協会の感想】

・行政報告を住民が聞き、それを基に住民と意見交換を行う本取組は、非常に先進的であると感じた。
・住民一人ひとりが主体となって町の未来をつくっていこうとする姿勢が印象的だった。
・行政に何かを求めるだけではなく、自分たちが何をしたいのか、将来に向けて何ができるのかを考えている点に、設楽町の大きな可能性を感じた。

グループ②　湖面利活用に関する意見交換

【山村都市交流拠点施設に期待する機能について】

・眺望の良い高所に展望機能を設けてほしい。
　展望台の高さと利用可能な平場面積の両立が論点。
・飲食・物販機能を併設し、地域での消費につなげてほしい。
・駐車場や芝生広場、アウトドアアクティビティ等の施設配置や
　優先順位を考える。
・5.9haという広い平場を残すことにも価値がある。
・温浴・サウナ・シャワー等の機能、宿泊・飲食との組合せにより
　滞在時間を延長させることが可能。

グループ②　湖面利活用に関する意見交換

【交通・周遊について】

・ダムへのアクセス路に勾配があるため、電動自転車・電動モビリティ等の導入してはどうか。

・周遊動線づくりを地元事業者が担える仕組みを検討すべき。

【ダムの見せ方について】

・放流を観光資源として見せる。
（ただし、運用・安全上の制約や国との調整が必要。）

※実現可能性にかかわらず地域の希望を早期に示し、今後の基本構想・計画検討に反映させることが重要。